議会報告会 報告書

彦根市議会議長 谷口 典隆 様

議会報告会 B 班 西川 正義

開催日時	平成 26 年 4 月 23 日 (水) 19 時 00 分~20 時 30 分
開催場所	稲枝地区公民館
出席議員	議員氏名(役割) 渡辺史郎(司会)、有馬裕次(開会挨拶)、赤井康彦(報告) 上杉正敏(会場整理・記録)、西川正義(会場整理・記録)
参加者数	20 名 (男性 16 名、女性 4 名)
内 容 (内容及び時間配分)	開会司会 19:00~19:02 班長挨拶 19:02~19:07 報告 19:07~19:30 質疑 19:30~20:30
主な質疑応答、議会への意見	 Q. 今回開催された議会報告会は、3月議会で基本条例が定められたことにより実施するとの説明があったが、基本条例の内容が市民に説明されているのか。また資料についても提供してほしかった。 A. 先程も説明させて頂いたように、これまで議会では、議会改革特別委員会を設置し、市民に分かりやすい開かれた議会を目指して多くの改革を行い、基本条例はその集約的なものでありこれを確実に実践することが不可欠であり、その意味では内容についての説明をどのように進めていくのか検討していきたい。(その後、市議会のホームページに掲載していることを追加説明した)
	 Q. 彦根市の借金はいくらあるのか、また、市民一人当たりの借金はどの程度なのか。 A. 詳細については調査し、報告したい。(実質公債費比率についてのこれまでの推移について説明した)なお、市民一人当たりの借金はおおよそ89万円である。 Q. 25,26年度実質公債費比率の見込みは上がっていくのか。 A. 単純に良くなるとは言えないが、これ以上悪くならないように、行政の執行状況などを厳しく注視していく。

- Q. 昨年秋の台風(18号)による避難勧告について、メールは確認したが、避難をするか否かの判断に大変苦慮し、結果として避難しなかったが、自治体で判断してよいのか。
- A. 災害に備えての対応は、まず自分を守るための自助、近所の人や地域が助け合う共助、国・県・自治体による公助があるが、初期対応は自分の命を守ることへの対応が大切である。また避難の判断は自治会単位で防災組織を中心に判断してほしい。
- Q. 稲枝駅の改築において、自由通路はどのようになるのか、また駅西側 開発は、マスタープランに含まれるのか。
- A. 駅西側開発については、稲枝地域の振興と活性化に必要であり、26年度から予定される彦根市マスタープラン作成に当該地区の見直しを強く求めていく。また、自由通路は東西の駅入り口を駅舎に繋げる形となる。(後日、都市計画道路となったことを説明した)
- Q. 市立病院の医療機器経費が非常に高く感じるが、その内訳は。
- A. 病院が移転して 10 数年経過し、医療機器の耐用年数の経過による更新が主であるが、医師不足・看護師不足も課題である。
- Q. 市議会ホームページにおける会議録の検索をし易くしてほしい。また会議録の掲載が、次回定例会前であり、もう少し早く掲載してほしい。 (要望)
- A. 議会事務局に働きかけたい。
- Q. 議会傍聴を数回したが、一般質問で議席ナンバーで指名しているが、 質問者の氏名がわからない。質問者の氏名で言ってほしい。(要望)
- A. 検討課題としたい。
- Q. 彦の使用状況は
- A. 実施当初からは、若干減少しているが、現在も 260 万円相当の活動を 市民が実施されている。
- Q. 本日出された質問や意見、要望などについて持ち帰ってどのような形で回答をされるのか。
- A. 今回は、7学区のうち4学区を実施してきたため、残りの3学区を9 月議会後に報告会を開催する予定であり、その後集約して報告などの手 法を検討していく。
- Q. 2024年に滋賀国体が開催されるとの事であるが、彦根市に主会場を招 致する事に市議会は賛成しているのか。
- A. 議会における質問でも、多くの議員が主会場に彦根を中心とした、湖東・湖北に招致するように要望されており、関係者からの請願について

も議員全員の賛成で採択され、県が5月に最終決定される予定であり 議長から市長へ強く要請しているところである。
稲枝支所で処理できない申請事項等が多くあり、その場合は彦根市役所まで出 向く必要があり、まちづくり推進室の出先機関を稲枝支所に設置願いたい。